

## 特許流通の実態に関するアンケート

平成19年4月  
株式会社野村総合研究所

### 調査ご協力をお願い

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、独立行政法人工業所有権情報・研修館から委託を受け、表記の「特許流通の実態に関するアンケート」を実施することとなりました。本アンケート調査は、国研・公設試や大学、企業が保有している特許の流通や技術の移転、大企業等へのライセンスの付与を今後より一層促進していく上で、どのような点が課題となっているのか、その実態を把握することにより、独立行政法人工業所有権情報・研修館が進める特許流通促進事業など特許の流通に係る活性化施策の検討・立案に役立てることを目的としています。

本アンケート調査は、貴団体において、**知的財産の管理をご担当されている方**にお答えいただければ幸いに存じます。回答をお願いしているみなさま方は、国や自治体の公的な研究機関の中から無作為抽出させていただきました。

つきましては、ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、上記の趣旨をご理解の上、本調査にご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートは無記名となっておりますので、個々の団体が特定されることはございません。

### <ご記入上のおお願い>

- 1 ご回答は、**知的財産の管理をご担当されている部署の方**にお願いいたします。
- 2 ご記入は、黒・青のボールペン、万年筆または鉛筆でお願いします。
- 3 質問の番号順にお答えください。質問によっては、一部の方だけにおたずねするものがありますが、その場合は矢印などの案内にそってお進みください。
- 4 ご回答は、あてはまるものの番号を○印で囲んでください。なお、質問ごとに「○は一つ」「○はいくつでも」というように指定してありますので、ご注意ください。
- 5 「その他（ ）」に該当される場合は、ご面倒ですが、なるべく詳しく（ ）内に回答内容をご記入ください。
- 6 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に封入のうえ、**4月27日(金)まで**にご投函ください。
- 7 ご不明の点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせください。

株式会社野村総合研究所 情報・通信コンサルティング部  
担当：山本  
電話：03-5533-2819  
(受付時間：平日 10時から 17時)

【全員の方におうかがいします。】

はじめに、貴団体についておうかがいします。

問1 貴団体の正職員数をお答えください。

正職員数：約 \_\_\_\_\_人

問2 貴団体の研究開発に係る予算（平成18年度）をお答えください。

研究開発に係る予算：約 \_\_\_\_\_百万円

問3 貴団体の特許<sup>(※1)</sup><sup>(※2)</sup>管理業務に携わる正職員数、非正職員数（派遣・アルバイト等）をお答えください。

(※1)「特許」と記述されている場合は、「特許権」と「実用新案権」を対象とします。一方、「商標権」や「意匠権」については、対象外とします。上記の定義に基づいてお答えください。

(※2)「特許」と記述されている場合について、特に断りがないうちは、「国内出願」のもののみを対象とします。一方、「国際出願」のものや「外国出願」のものについては、対象外とします。以降の設問は、上記の定義に基づいてお答えください。

正職員数：約 \_\_\_\_\_人 非正職員数：約 \_\_\_\_\_人

問4 貴団体では、特許管理にあたって、弁護士資格保有者や弁理士資格保有者を組織内に専属で何名有していますか。全く有していない場合は0とご記入ください。

弁護士資格保有者：約 \_\_\_\_\_人 弁理士資格保有者：約 \_\_\_\_\_人

問5 平成18年度の貴団体の特許管理に係る予算（人件費は含まない）をお答えください。

特許管理に係る予算：約 \_\_\_\_\_百万円

問6 平成 18 年度、貴団体の特許出願に係る予算（人件費は含まない）は、特許管理に係る予算（人件費は含まない）のおよそ何%ぐらいを占めましたか。（〇は一つ）

1. 10%未満
2. 10%～20%未満
3. 20%～30%未満
4. 30%～40%未満
5. 40%～50%未満
6. 50%～60%未満
7. 60%～70%未満
8. 70%～80%未満
9. 80%～90%未満
10. 90%以上（およそ\_\_\_\_\_ %ぐらい）

問7 貴団体では、特許の管理や活用に関して、外部の承認 T L O（技術移転機関）に業務委託していますか。（〇は一つ）

1. 特許の管理・活用について、全面的に外部 T L O に委託している
2. 特許の管理は団体内で行い、活用は外部 T L O に委託している
3. 特許の活用について、一部を外部 T L O に委託している

4. 特許の活用について、一部を民間の技術移転事業者に委託している
5. 特許の管理・活用について、全面的に団体内で行っている
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）

→ 問9へお進み  
ください

問8 具体的に、外部の承認 T L O（技術移転機関）とどのような連携を図っていますか。（〇はいくつでも）

1. T L O が発明の評価・発掘に関与している
2. T L O が取り扱っている技術だけを特許出願・登録している
3. T L O が、業務委託契約に基づき、マーケティングから契約までの一連の業務の大部分を担っている
4. その他（ \_\_\_\_\_ ）

【全員の方におうかがいします。】

**特許の出願・登録状況についておうかがいします。**

問9 平成 19 年3月末時点で、貴団体において、出願中の特許や権利所有されている特許はおよそ何件ありますか。出願中の特許や権利所有されている特許がない場合は〇とご記入ください。なお、この設問に限り、「国内出願」と「国際出願・外国出願」の両方についてお答えください<sup>(※1)</sup>。

(※1) 複数国に特許を出願している場合は、複数件として出願件数をお答えください。

	出願件数 (ストックベース)	登録件数 (ストックベース)
国内出願	約 _____ 件	約 _____ 件
国際出願・外国出願	約 _____ 件	約 _____ 件

問 10 貴団体では、特許を出願・登録する際に、下のア～カのような点についてどの程度重視していますか。（それぞれ〇は一つずつ）

		かなり重視している	多少重視している	あまり重視していない	全く重視していない
ア	国研・公設試の技術を実用化につなげて、社会貢献すること	1	2	3	4
イ	国研・公設試発のベンチャーを創出すること	1	2	3	4
ウ	民間企業等へのライセンスにより収入を得ること	1	2	3	4
エ	共同研究・委託研究などの研究資金を獲得しやすくすること	1	2	3	4
オ	有用性や取組み姿勢をアピールし、自団体の名声や価値を高めること	1	2	3	4
カ	職員の意向に沿うようにすること	1	2	3	4

問 11 平成 18 年度、予算確保上の制約により、特許の出願を見送ったものは、どれぐらいありましたか。平成 18 年度の発明届出全体に占める、特許の出願を見送ったもののおおよその割合をお答えください。(〇は一つ)

1. 特許の出願を見送ったものはない
2. 10%未満
3. 10%~20%未満
4. 20%~30%未満
5. 30%~40%未満
6. 40%~50%未満
7. 50%以上(おおよそ\_\_\_\_\_%)

問 12 国や自治体から一般競争入札により発注された案件で、その案件に関連して生まれた知的財産の取扱いについて、国や自治体の内部でどのような対応をとることが最も多いですか。(〇は一つ)

1. ほとんどすべてについて特許の棚卸しを行い、権利化を検討している
2. 一部についてのみ特許の棚卸しを行い、権利化を検討している
3. 全く特許の棚卸しや権利化を検討していない
4. その他( )

問 13 特許の出願・登録・管理において、困っていることをお知らせください。(〇はいくつでも)

1. 特許の出願に係る予算が確保できない、あるいは不足している
2. 特許の登録、維持に係る予算が確保できない、あるいは不足している
3. 上記1、2以外の特許管理に係る予算が確保できない、あるいは不足している
4. 自団体の運営方針と特許ポリシーがリンクしていない
5. 特許出願において、商品化や実用化が意識されていない
6. 特許管理業務に係る人材が確保できない、あるいは不足している
7. 権利侵害対応などの業務に奔走し、特許の出願・登録に手が回らない
8. 団体内研究者の特許についての意識・認知が低い
9. 知財スタッフの特許の知識・ノウハウが乏しい
10. 共同出願の業務に忙殺される
11. 特許の出願・登録が研究者の思惑に左右される
12. 発明者が一部の研究者に偏る
13. 目利きができない、出願・維持の判断が難しい
14. その他( )
15. 特に困っていることはない

【全員の方におうかがいします。】

**特許の流通（ライセンス、売買等）についておうかがいします。**

問 14 平成 16～18 年度、貴団体では、貴団体が保有する特許に関して、次の主体と有償実施権許諾(ライセンス)契約（係争解決・クロスライセンスを除く）を締結し、ライセンスを付与しましたか（〇はいくつでも）。ライセンスを付与したものについては、差し支えない範囲で結構ですので、おおよその成約件数をお知らせください。

（〇はいくつでも）	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
1. 大企業	約_____件	約_____件	約_____件
2. 中小企業	約_____件	約_____件	約_____件
3. 公的機関・非営利団体	約_____件	約_____件	約_____件
4. その他	約_____件	約_____件	約_____件
5. 締結していない			

問 15 上記の問 14 でお答えになられた有償実施権許諾(ライセンス)契約は、どのような交渉を経て実現しましたか。（〇はいくつでも）またそのうち、貴団体において最も多く利用されている交渉形態を 1 つ選んで◎印をお付けください。

1. ライセンス先との直接交渉
2. 外部の承認 T L O を介した交渉
3. 民間の特許流通業者を介した交渉
4. 特許事務所を介した交渉
5. 自治体や国（発明協会、科学技術振興機構（ J S T ）などを含む）等の団体外のアドバイザーやコーディネータを介した交渉
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）

問 16 保有特許の利用に関して、企業とコンタクトする場合に、最初のコンタクトは主にどのような形態でなされますか。（〇はいくつでも）またそのうち、貴団体において最も多いと思われるコンタクトの形態を 1 つ選んで◎印をお付けください。

1. 企業から発明者への直接のコンタクト（学会等でのコンタクトを含む）
2. 国研・公設試から企業への直接のコンタクト
3. 民間の特許流通業者を介したコンタクト
4. 特許事務所を介したコンタクト
5. 自治体や国（発明協会、科学技術振興機構（ J S T ）などを含む）等の学外のアドバイザーやコーディネータを介したコンタクト
6. 国研・公設試のウェブサイトを通じての企業からのコンタクト
7. 特許データベース（工業所有権情報・研修館の特許流通データベース、特許電子図書館、PATOLIS など）を通じての企業からのコンタクト
8. 展示会やイベント（学会発表等を除く）などでのコンタクト
9. その他（ \_\_\_\_\_ ）

問 17 平成 16～18 年度の貴団体におけるライセンス付与によるトータル収入は、おおよそいくらぐらいになりますか。差し支えない範囲で結構ですので、おおよその金額をお知らせください。

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
ライセンス付与に係る収入	約_____百万円	約_____百万円	約_____百万円

なお、上記の表で、具体的な数字の記入によるご回答が難しい場合は、下の選択肢よりお選びいただいても結構です。（それぞれ〇は一つずつ）

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
ライセンス付与に係る収入	1. 0円 2. 100万円未満 3. 1000万円未満 4. 1億円未満 5. 1億円以上	1. 0円 2. 100万円未満 3. 1000万円未満 4. 1億円未満 5. 1億円以上	1. 0円 2. 100万円未満 3. 1000万円未満 4. 1億円未満 5. 1億円以上

問 18 上記の問 14 でお答えになられたような様々な主体との有償実施権許諾(ライセンス)契約の締結機会は、ここ 2～3年の間にどのように変化すると思われますか。(〇は一つ) またそのように思われる理由について、お考えを下の空欄にご記入ください。

1. 現状よりも増える(新たな契約を含む) ⇒ 契約が増えそうな主体：  
2. 現状とほとんど変わらない \_\_\_\_\_  
3. 現状よりも減る ⇒ 契約が減りそうな主体：  
\_\_\_\_\_

【理由】

問 19 貴団体では、貴団体が単独で保有する特許のうち、有償実施権許諾(ライセンス)契約に基づくライセンス(係争解決・クロスライセンスを除く)などにより、活用している特許の割合は、およそ何%ぐらいですか。(〇は一つ)

1. 活用していない
2. 10%未満
3. 10%～20%未満
4. 20%～30%未満
5. 30%～40%未満
6. 40%～50%未満
7. 50%以上(およそ \_\_\_\_\_%ぐらい)

問 20 特許の流通(ライセンス等)についての問題意識として、あてはまるものを選んで〇印をお付けください。(〇はいくつでも)

1. 特許価値の評価の妥当性に関する判断が難しく、ライセンス価格が定まらない
2. 特許の権利化や棚卸しが不十分である
3. 自団体の保有特許を必要とする取引相手に関する情報が不足している
4. ライセンスが可能な特許に関する情報が不足している
5. 特許の流通を担う適切な専門的人材が不足している
6. 特許の流通に関する交渉方法が分からない
7. 契約条件の定め方が分からず、契約書の作成が難しい
8. 特許の流通に係る予算が不足している
9. 県外へのライセンスができないなど法制度上の制約が大きい
10. その他 ( \_\_\_\_\_ )
11. 特に問題点はない

問 21 貴団体では、特許権侵害を盾に訴訟を起こし、不当に高額な賠償金や和解金の獲得をもちうる特許権利者(いわゆるパテントトロール)について、どの程度の脅威をお感じですか。(〇は一つ)

1. かなり脅威を感じる
2. 多少脅威を感じる
3. あまり脅威を感じない
4. 全く脅威を感じない

【全員の方におうかがいします。】

**特許の流通に係る政府の支援活動についておうかがいします。**

問 22 独立行政法人工業所有権情報・研修館をご存知でしたか。(〇は一つ)

1. 詳しい事業内容や活動内容を知っている
2. 事業内容や活動内容の概要を知っている
3. 名前を聞いたことがある
4. 全く知らない

問 23 独立行政法人工業所有権情報・研修館が推進する「特許流通促進事業」(<http://www.ryutu.inpit.go.jp/>)の中で、これまでにご利用になったことがあるものをすべて選んで〇印をお付けください。(〇はいくつでも)またそのうち、今後も継続して利用していきたいとお考えになられたものについては、◎印をお付けください。

1. 特許流通や技術移転に係る相談、仲介等を行う、特許流通アドバイザーの派遣(社団法人発明協会への委託事業)
2. 特許電子図書館などを用いた特許情報の検索方法や活用方法について指導を行う、特許情報活用支援アドバイザーの派遣(財団法人日本特許情報機構への委託事業)
3. 特許流通データベースの提供(インターネットによる開放特許情報の提供サービスを含む、財団法人日本特許情報機構への委託事業)
4. 知的財産権取引業者データベースの提供
5. 国際特許流通セミナーの開催
6. 特許ビジネス市の開催
7. 特許流通講座(基礎編・実務編)の開催
8. 特許流通シンポジウムの開催
9. 特許流通ニュースメールの配信
10. 特許流通促進事業広報番組「知恵の輪ニッポン」の放送
11. 開放特許活用例集の提供
12. 特許流通支援チャートの提供
13. 上記の1～12に関して特に利用したことはない

【問 23 で「1. 特許流通や技術移転に係る相談、仲介等を行う、特許流通アドバイザーの派遣」とご回答になられた方におうかがいします。】

問 24 満足度についてお知らせください。(〇は一つ)

1. 期待した以上の大きな満足度が得られた
2. 期待した通りの満足度が得られた
3. 期待したほどの満足度は得られなかった
4. 期待外れで不満が残った

問 25 特許流通アドバイザーの派遣を利用して、良かった点、良くなかった点(改善して欲しい点)についてお知らせください。

【良かった点】

【良くなかった点(改善してほしい点)】

【問 23 で「3. 特許流通データベースの提供」とご回答になられた方におうかがいします。】

問 26 満足度についてお知らせください。(〇は一つ)

1. 期待した以上の大きな満足度が得られた
2. 期待した通りの満足度が得られた
3. 期待したほどの満足度は得られなかった
4. 期待外れで不満が残った

問 27 特許流通データベースを利用して、良かった点、良くなかった点(改善してほしい点)についてお知らせください。

【良かった点】

【良くなかった点(改善してほしい点)】

問 28 独立行政法人工業所有権情報・研修館へのご要望について、ご意見をお聞かせください。

問 29 特許の流通（ライセンス、売買等）の活性化のために、どのような施策が必要であるとお考えですか。ご意見をお聞かせください。

おうかがいしたいことは以上です。ご協力ありがとうございました。  
恐れ入りますが、4月27日（金）までにご投函いただきますよう、お願い申し上げます。